

地域活性化のために必要なこととは...

「ももの里地域農村活性化協議会」事務局長に聞きました

1. はじめに

「地域・人と環境にやさしいトランジットモデル都市おかやまをめざして」様々な活動を展開しているNPO法人公共の交通ラクダは、コンパクトシティとLRTを中心にバスなど公共交通の拡充や自転車の活用といった交通改革と、都心回遊性向上をめざして各種の政策提言を打ち出してきました。

本号では中心市街地のコンパクトシティと、都市近郊地域を結ぶ交通ネットワークの現状と具体的な課題を調査するため、以前出前公聴会で地域の皆さんから地域の交通についての様々な悩みや希望をお聞きしていた「ももの里地域農村活性化協議会」におけるその後のまちづくりの様子と、ももの里地域を中心とする公共交通の課題解決に向けた取組を「ももの里街づくり協議会」の市川事務局長に公共の交通ラクダの堀協理事がインタビューさせて頂いた内容を報告します。

2. インタビューの内容 (Qは、「ラクダ」の堀協理事、Aは、「ももの里街づくり協議会」の市川事務局長)

Q1: ももの里地域とは、どの地域のことでしょうか？

A1: 岡山市北区芳賀(旧一宮町)や富吉地域(旧津高町)の高原地帯の一部を総称した愛称であり、小学校区で言えば桃ヶ丘小学校区と馬屋上小学校区に跨るエリアです。いずれも桃の栽培で有名な地域です。

Q2: ももの里地域の特徴と課題について教えてください。

A2: ももの里地域の農村部は、岡山県を代表する清水白桃や、マスカットオブアレキサンドリアの発祥の地なのですが、高齢化、農産物価格の低迷、後継者不足から農家戸数、栽培面積が最盛期の半分以上に減少し、農家人口も約3分の1に減少しており、あたり一面が耕作放棄地となっています。

一方、地区内には「岡山リサーチパーク」や、新興住宅地の「サンノゼの丘」が企業活動を展開しており、新しいまちの概観が芽生えつつあります。しかし、これらの企業間と農村地域の交流はほとんどありません。



「ももの里」位置図



岡山リサーチパーク



サンノゼの丘



(裏面へ)

NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail: info@racda-okayama.org

URL: http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索



Q3: ももの里地域に共通する課題は何でしょうか？

A3: 何れの地域にも共通している課題は、街として必要な機能、暮らしに必要な機能が相当欠けていることです。

Q4: 機能が相当欠けていると云いますと？

A4: ももの里地域に共通している課題は、レストラン、宿泊場所、コンビニ、金融機関、公民館、行政の窓口がなく、暮らしに著しい支障があります。また、農村集落の近くには、最寄に乗降可能な公共交通もなく、バス停でも坂道を歩いて1Kmほど離れているところにあります。



自然は豊か、バス停は遠い

Q5: 課題を解決する為の対策を何か考えているのですか？

A5: ももの里のまちづくりのミッションは3つあります。

- ① 人と自然が調和して、快適で健康長寿のまちづくり
- ② 誰もがいつまでも幸せに暮らせるふる里創り
- ③ 人が優しく、人に優しい、みんな元気に交流するまちづくり

以上のミッションを実現するため「ももの里 心をあわせ 力をあわせ もりあげたい」のスローガンを掲げています。

Q6: 具体的にはどんな取り組みをされていますか？

A6: 何でも話し合える「にこにこサロン」の開催、耕作放棄地を「市民農園」に再生する取り組み、景観向上、都市と農村の交流、異文化交流、まちの人口を増やす取組、暮らしの利便性を高める取組、楽しい取組・・・などです。



ももの里市民農園での収穫風景



サンノゼの丘と市民農園

草刈をするヤギの親子 モモ&太郎

Q7: 農村集落の最寄に公共交通がないことについてはどんな取組が行われていますか？

A7: 公共の交通ラダと連携して、公共交通を核にしたまちづくり、バス事業者に対する新規バス停の要望、地域の定住人口を増やす取組、交流人口を増やす取組、公共交通の利用促進の呼びかけ・・・等を行っています。



3. 終わりに

紙面の都合で、さらに具体的なお話は改めてお聞きしたいと思えます。

ありがとうございました。(RACDA 堀脇)

公共交通は地域の活性化に欠かせません。
ももの里に公共交通を。